

{ 2018年7月登録 }



世界文化遺産

長崎と天草地方の
潜伏キリシタン関連遺産

5

そとめ しつしゅうらく
外海の出津集落

Shitsu Village in Sotome

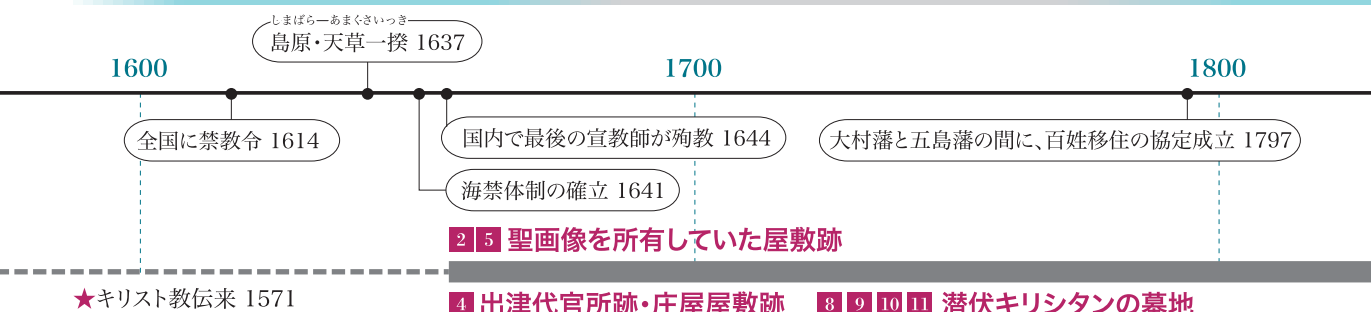
ガイドマップ



| 外海の出津集落 | の価値

I 宣教師不在と キリシタン「潜伏」のきっかけ

II 潜伏キリシタンが信仰を 実践するための試み



「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」全体の価値における位置づけ

◎「外海の出津集落」は、潜伏キリシタンが何を拝むことによって信仰を実践したのかを示す4つの集落のうちの一つです。

◎キリスト教由来の聖画像をひそかに拝むことによって信仰を実践した集落です。

《基本情報》

文化財の名称	旧出津救助院	出津教会堂	長崎市外海の石積集落景観
種別	重要文化財	重要文化財	重要文化的景観
指定年	2003年	2011年	2012年
所在地	長崎市西出津町	長崎市西出津町	長崎市

資産内の 見学マナー

資産内では生活が営まれています。住民のプライバシーを考え、マナーを守って散策してください。

- ゴミ箱を設置しておりませんので、ゴミはお持ち帰りください。
- 道路を歩く場合は、広がらず、必ず路側帯を歩いてください。
- 喫煙は所定の場所をお願いします。歩きながらの喫煙やたばこのポイ捨てなどはお止めください。
- 個人の敷地や田畑に入ったり、家の中を覗いたり、無断で戸を開けたりするのは絶対にお止めください。
- トイレは所定の場所をお願いします。

教会堂 見学の 事前連絡

教会行事により見学できない場合や、一度に多くの見学者を受け入れられない場合もありますので、見学を希望される際は、事前に各受付窓口のホームページからご連絡をお願いします。

長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産インフォメーションセンター
(長崎の教会群インフォメーションセンター)

〒850-0862 長崎市出島町1-1-205(出島ワーフ2階)
TEL.095-823-7650 ◎受付時間 | 9:30~17:30

<http://kyoukaigun.jp>

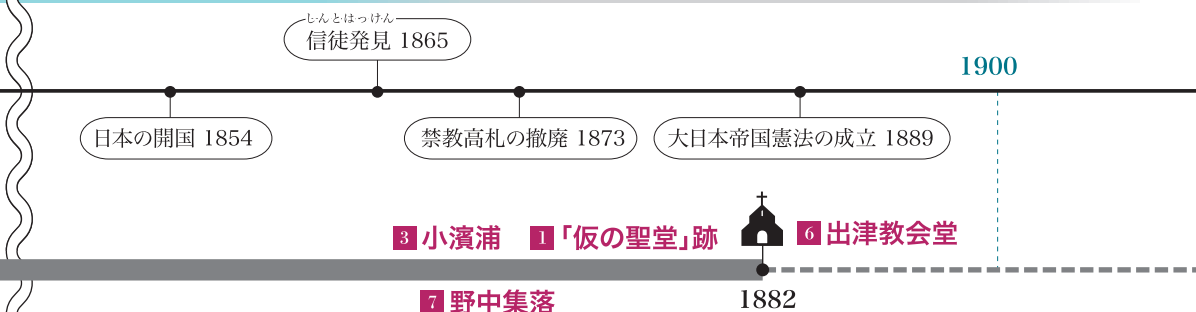
キリシタン遺産 インフォメーション

検索



Ⅲ 潜伏キリシタンが共同体を維持するための試み

Ⅳ 宣教師との接触による転機と「潜伏」の終わり



歴 史

◎東シナ海に面する西彼杵半島西岸は外海地域とよばれ、1571年にキリスト教が伝わり、宣教師の駐在所が置かれるなど宣教が進みました。

◎外海地域の出津集落では、禁教期になると佐賀藩が置いた代官所の管轄の下で表向きは仏教寺院に属しつつ、宣教師に代わる指導者を中心に組織的に信仰が続けられました。

◎潜伏キリシタンの共同体は、禁教初期に宣教師から伝えられた教会の暦を所有する「組」とよばれる小さな組織からなり、これらを統括する指導者が、洗礼や葬儀などの儀礼をつかさどりました。

◎集落内には、禁教以前に編さんされた教理書が伝承され、「オラショ」とよばれる祈りの言葉が口承で伝えられた。

◎また、集落内では、ヨーロッパから伝わった聖母マリアをかたどった青銅製の大型メダル「無原罪のプラケット」や、宣教師ロヨラにみたてた仙人像（イナッショさま^{むげんざい}4）、禁教初期に日本人が描いた聖画像²5などを秘匿し、ひそかに拝むことによって信仰を実践しました。

◎「信徒発見^{しんとはっけん}」後、出津集落の潜伏キリシタンは宣教師と接触して徐々にカトリックへ復帰し、1873年には聖画像を秘匿してきたキリシタンの屋敷の隣に「仮の聖堂^{かり せいどう}1」を建てました。

◎1882年には集落を見下ろす高台に出津教会堂⁶が建てられました。



出津のプラケット「無原罪の聖母」
（ド・ロ神父記念館所蔵）

| 外海の出津集落 | の広域マップ



| 外海の出津集落 | の拡大マップ



《推奨ルート》



..... 構成資産範囲	0 重要ポイント	P 駐車場	展示	集落	関連の建物跡
----- 徒歩で移動	A その他のポイント	トイレ	ショップ	ビューポイント	教会堂
—— 徒歩または自動車等で移動	A 情報発信拠点施設	休憩所	飲食	墓地、墓碑	教会堂跡

| 外海の出津集落 | の重要ポイント案内

1

かり せいどう あと
「仮の聖堂」跡

※私有地ですので立ち入らないでください。

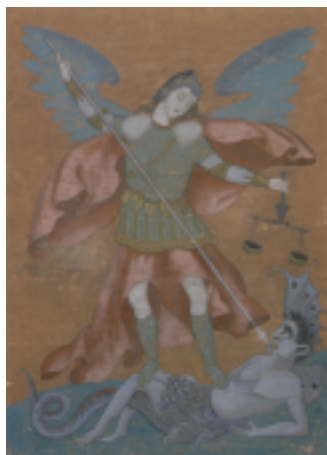


この場所は、1873年のキリスト教の解禁直後、来日したペルー神父が信徒の所有地に建てた「仮の聖堂」の跡地です。古写真から、左下のわらぶき屋根付近にあたるこの場所であることがわかります。聖画（聖ミカエル図）を継承してきた屋敷跡②に隣接しています。

2

せい が ぞう せい ず しょゆう やしきあと
聖画像（聖ミカエル図）を所有していた屋敷跡

※私有地ですので立ち入らないでください。



写本（長崎歴史文化博物館所蔵）



※イラストはイメージです。

この場所は、禁教初期に描かれた聖画「聖ミカエル図」をひそかに所有していた潜伏キリシタンの屋敷の跡地です。この地域では1867年、カトリックへ復帰するかどうかについて信徒間で意見が分かれ、伝承してきた聖画の所有を巡る対立に発展しました（野中騒動⑦）。聖ミカエル図は、この騒動の一因となった聖画です。

3

おばまうら
小濱浦

※ビューポイントからの見学をお願いします。



小濱浦は、大浦天主堂での「信徒発見」から半年後、プティジャン神父がひそかに船で外海地域を訪れた際、最初に上陸した浜辺です。1862年の絵図にも「小濱浦」と記され、禁教当時のままだに浜辺の地形が残されています。

4

しつだい かんしょあと しょうや やきしあと

出津代官所跡・庄屋屋敷跡



※旧出津救助院 ㊦ の敷地内です。



①



※ ㊦ に展示しています。

①

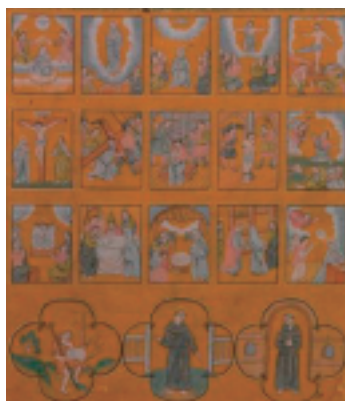
イナッショさま(長崎市歴史民俗資料館所蔵)

この場所には、禁教期に出津集落を管轄した出津代官所と庄屋の屋敷がありました。1872年、代官所ではキリシタンの確認が行われ、信仰している者には年貢を滞りなく納めれば信仰を見逃すというキリスト教信仰の黙認が行われました。庄屋も潜伏キリシタンで、庄屋宅には信仰の対象である「イナッショさま」が継承されました。

5

せい が ぞ う じゅう ご げん ぎ ず し ょ う ゆ う や し き あ と
聖画像(十五玄義図)を所有していた屋敷跡

※私有地ですので立ち入らないでください。



写本(長崎歴史文化博物館所蔵)

この場所は、禁教初期に描かれた聖画「十五玄義図」をひそかに所有していた潜伏キリシタンの屋敷の跡地です。この地域では1867年、カトリックへ復帰するかどうかについて信徒間で意見が分かれ、伝承してきた聖画の所有を巡る対立に発展しました(野中騒動⁷)。十五玄義図は、この騒動の一因となった聖画です。



※イラストはイメージです。

6

しつぎょうかいどう

出津教会堂



出津集落の潜伏キリシタンは、解禁後に段階的にカトリックへ復帰していきます。1882年にド・ロ神父が集落の中心部に**出津教会堂**を建てたことで、彼らの「潜伏」が終わりを迎えました。教会堂は、信徒の増加に伴う1891年と1909年の増改築により、正面と背面の両方に鐘塔がある現在の姿になりました。

Ⓜ

教会堂の見学マナー

教会堂は大切な祈りの場ですので、見学マナーを守り、厳粛な雰囲気の中で心静かに過ごしてください。

- 堂内では帽子を脱ぎ、静かに拝観してください。
- 堂内にある物にはふれないでください。
- 柵内、内陣(祭壇域)には入らないでください。
- 堂内での飲食、飲酒、喫煙は厳禁です。
- 堂内の写真撮影は禁止です。
- 教会行事(ミサや冠婚葬祭など)が行われているときは入堂をご遠慮ください。
- 教会堂見学に対する感謝の気持ちは、教会堂保存のための寄付として設置してある献金箱をお願いします。



7

野中集落

※私有地ですので立ち入らないでください。



野中集落は、教理書などが指導者の家で継承された潜伏キリシタンの中心的な集落でした。「信徒発見」後、カトリックへ復帰するかどうかについて信徒間で意見が分かれ、伝承してきた聖画(聖ミカエル図²・十五玄義図⁵)の所有を巡る対立(野中騒動)に発展した場所です。この騒動の後、外海地域ではカトリックに復帰する者とそうでない者とに分かれていきました。

潜伏キリシタンの墓地



出津集落では、1862年の絵図により墓地がコミュニティごとに作られていることが分かります。禁教期の墓は石塔がなく、当地で産出される結晶片岩を積み上げたものがほとんどです。当地の潜伏キリシタンの埋葬方法は、「頭を南に向けて、膝を曲げて寝かせる寝棺」という言い伝えがあり、野中墓地の発掘調査によって言い伝えどおりの埋葬方法であることが明らかになりました。

8

こたひらぼち

小田平墓地

※私有地ですので立ち入らないでください。



①

小田平墓地は、小田平集落にある潜伏キリシタンの墓地で、禁教期の1862年の絵図にも描かれています。この地域の禁教期の墓には石塔がなく、結晶片岩を積み上げた積石墓です。複数の積石墓が見られますが、その多くはカトリックへの復帰を境に教会や寺社が管理する墓地へ改葬されました。

9

しょうぶだぼち

菖蒲田墓地

※私有地ですので立ち入らないでください。



①

菖蒲田墓地は、白木集落にある潜伏キリシタンの墓地で、禁教期の1862年の絵図にも描かれています。この地域の禁教期の墓には石塔がなく、結晶片岩を積み上げた積石墓です。2016年に墓地の配置、形態の調査を行い、墓域から江戸期の置物が確認されています。

10

のなかぼち

野中墓地

※私有地ですので立ち入らないでください。



①

野中墓地は、野中集落にある潜伏キリシタンの墓地で、禁教期の1862年の絵図にも描かれています。この地域の禁教期の墓には石塔がなく、結晶片岩を積み上げた積石墓です。発掘調査が行われ、潜伏キリシタンの埋葬方法として地元で伝えられてきた「頭を南に向け、膝を曲げて寝かせた」状態が確認されました。

11

はたくいぼち

畑杭墓地

※私有地ですので立ち入らないでください。



①

畑杭墓地は、畑杭集落にある潜伏キリシタンの墓地で、禁教期の1862年の絵図にも描かれています。この地域の禁教期の墓には石塔がなく、結晶片岩を積み上げた積石墓です。1871年の死没年を刻んだカトリックの積石簿が確認され、潜伏キリシタンが存在したことが分かります。

| 外海の出津集落 | のその他のポイント案内

A そとめれきしみんぞくしりょうかん 外海歴史民俗資料館



①



外海地域のキリスト教及び集落に関する歴史・文化の資料などを展示しており、豊富なキリスト教関連の資料を所蔵しています。

- 所在地／長崎市西出津町2800 Tel:0959-25-1188
- 開館時間／9:00～17:00
- 休館日／12月29日～1月3日
- 入場料金／一般300円(240円)、小・中・高校生100円(60円)
※カッコ内は10人以上の団体料金
- U R L／<http://www.city.nagasaki.lg.jp/kanko/820000/828000/p000837.html>

B きゅうしつきゅうじょいん 旧出津救助院



①



潜伏キリシタンがカトリックに復帰し、ド・ロ神父がもたらした新たな技術を学び、「潜伏」が終焉に向かう移行期について解説しています。

- 所在地／長崎市西出津町2696-1 Tel:0959-25-1002
- 開館時間／火～土9:00～17:00、日曜日11:00～17:00(入館受付16:30まで)
- 休館日／月曜日(祝日の場合は翌日)、12月29日～1月3日まで
- 入場料金／一般 大人300円(250円)、中・高校生200円(150円)、小学生以下円150(100円) ※カッコ内は10人以上の団体料金
- U R L／<http://shitsu-kyujoin.com/>

C しんぶきねんかん ド・ロ神父記念館



①



外海地域の宗教、文化、産業、医療などの向上に貢献したフランス人宣教師ド・ロ神父の関連資料を展示しています。

- 所在地／長崎市西出津町2633 Tel:0959-25-1081
- 開館時間／9:00～17:00
- 休館日／12月29日～1月3日
- 入場料金／一般300円(240円)、小・中・高校生100円(60円)
※カッコ内は10人以上の団体料金
- U R L／<http://www.city.nagasaki.lg.jp/kanko/820000/828000/p000827.html>

D みち えき ゆうひ おか 道の駅 夕陽が丘そとめ



外海地域の農林水産物の特産品が販売されています。また、レストランでは地域の食材を使った料理を味わうことができます。

- 所在地／長崎市東出津町149-2 Tel:0959-25-1430
- 定休日／(物産販売所)1月1日～1月3日 (レストラン)無休
- U R L／<http://www.yuhigaoka-sotome.com/>

しっしゅうらく
E 出津集落ビューポイント

※道の駅 夕陽が丘そとめ D の敷地内です。



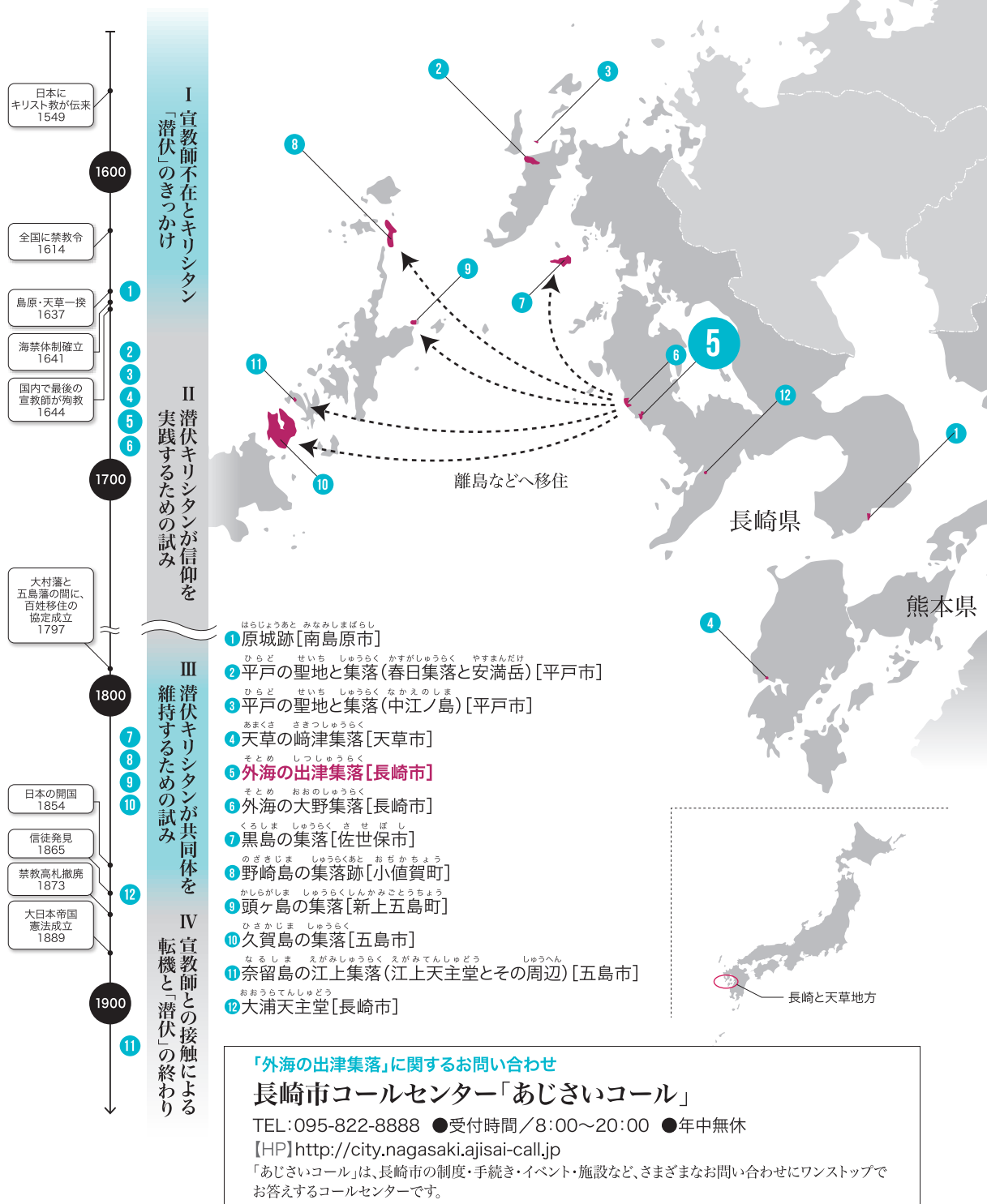
出津集落が一望できます。

えんどうしゅうさくぶんがくかん
F 遠藤周作文学館



遠藤周作の遺品、生原稿、蔵書などの貴重な資料を展示しています。

- 所 在 地／長崎市東出津町77 Tel:0959-37-6011
- 開館時間／9:00～17:00(入館受付16:30まで)
- 休 館 日／12月29日～1月3日まで
- 入場料金／一般360円(250円)、小・中・高校生200円(100円)
※カッコ内は10人以上の団体料金
- U R L／<http://www.city.nagasaki.lg.jp/endou/facility/>



企画・発行／長崎県、熊本県、長崎市、佐世保市、平戸市、五島市、南島原市、小値賀町、新上五島町、天草市

潜伏キリシタン遺産 検索 <http://kirishitan.jp>

撮影協力／①池田 勉、②日暮 雄一

2019年6月発行



国際連合教育科学文化機関



長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産
世界遺産登録年:2018年